

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	こころキッズ虹				公表日	令和8年 2月 5日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用定員と発達支援室のスペースのバランスを考え、子どもが安全かつ快適に過ごせる環境づくりに努めています。今後も環境の見直しや工夫を継続してまいります。		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用定員や子どもの特性に応じて職員配置を調整し、個別支援が行き届く体制づくりに努めています。今後も柔軟な配置で、安全かつ質の高い支援提供に取り組んでまいります。		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		生活空間は子どもに分かりやすく構造化し、障害特性に応じた設備やバリアフリー化、情報伝達の工夫を行っています。今後も安全で快適な環境づくりに努めてまいります。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清潔で心地よく過ごせる環境を保つとともに、子ども達の活動に応じた空間設定を工夫しています。今後も快適な環境づくりに努めてまいります。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		子どもの特性や状況に応じて、個別の部屋や場所を使用できる環境を整えています。今後も安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		業務改善や支援の質向上のため、職員全員がPDCAサイクルに参画できる体制を整えています。今後も職員の意見を活かし、業務改善に努めてまいります。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向け評価表を活用し、意向やご意見を把握する機会を設けています。いただいた内容を職員間で共有し、業務改善や支援向上に活かせるよう工夫しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員の意見や提案を把握する機会を設け、共有・検討することで業務改善や支援向上に活かせるよう工夫しています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		×	現在、第三者による外部評価は実施しておりませんが、業務改善や支援の質向上のため、今後の実施を検討しています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		×	現在、研修受講や法人内研修の機会は十分に整備されておりませんが、職員の資質向上のため、今後の研修機会の確保や実施方法について検討しています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		子ども一人ひとりの特性やニーズに応じて支援プログラムを作成し、保護者や関係機関が分かりやすいよう公表内容にも工夫しています。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		子ども一人ひとりに対して適切なアセスメントを行い、保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援計画の作成にあたっては、支援に関わる職員全員が共通理解の下で意見交換を行い、子ども一人ひとりの最善の利益を考慮しています。		
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		児童発達支援計画は職員間で共有し、計画に沿った支援が行えるよう工夫しています。		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		子どもの適応行動の把握には、標準化されたフォーマルなアセスメントと日々の観察を含むインフォーマルなアセスメントを併用しています。得られた情報を支援計画や日々の支援に反映できるよう工夫しています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児童発達支援計画の作成にあたっては、ガイドラインに示された「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」を踏まえ、必要な支援項目を適切に設定しています。さらに具体的な支援内容を職員間で共有し、日々の支援に反映できるよう工夫しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムの立案は職員チームで意見交換を行い、子ども一人ひとりの特性や発達段階に応じた内容に工夫しています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動プログラムが固定化しないよう、季節や子どもの発達状況、興味関心に応じて柔軟に内容を調整しています。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		こどもの状況に応じ、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる支援計画を作成し、支援に反映しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前には職員間で打合せを行い、その日の支援内容や役割分担を確認しています。 チームで連携して、計画に沿った支援が行えるよう工夫しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後には職員間で打合せを行い、その日の支援内容の振り返りや気付いた点を共有しています。 これにより、支援の質向上や次回の計画に活かせるよう工夫しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援内容を記録することを徹底し、その情報をもとに支援の検証・改善に活かせるよう工夫しています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しが必要か判断しています。 必要に応じて適切な見直しを行い、支援の質向上に努めています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		障害児相談支援事業所や関係機関の会議には、そのこどもの状況をよく理解した職員が参画し、情報共有と連携に努めています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		地域の保健・医療・福祉・保育・教育などの関係機関と連携し、こどもに応じた支援を行う体制を整えています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		併行利用や移行支援を通じてインクルージョンの推進に努めています。 保育所・幼稚園・特別支援学校等と支援内容の情報共有を行い、相互理解を深める工夫をしています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		×	現在、就学時の移行に関する学校との情報共有は行っておりませんが、今後の実施に向けて準備を進め、円滑な移行支援に活かせるよう検討しています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		×	現在、地域の児童発達支援センターとの連携やスーパーバイズの機会は設けておりませんが、今後の連携強化や助言を受ける体制の整備を検討しています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		×	現在、保育所や幼稚園等との交流や地域での他のこどもの活動は行っておりませんが、今後の交流機会の創出に向けて検討しています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日頃からこどもの状況を保護者と共有し、発達状況や課題について共通理解を促すよう情報交換に努めています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		×	現在、家族支援プログラムや研修、情報提供の機会は設けておりませんが、今後の実施に向けて検討し、家族の対応力向上に活かせるよう準備を進めています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営規程や支援プログラム、利用者負担について、保護者に分かりやすく丁寧な説明が行えるよう工夫しています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意向を確認する機会を設け、こどもの最善の利益を考慮した支援計画作りに努めています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		支援開始前に児童発達支援計画を保護者に示しながら内容の説明を行い、理解・同意を得られるよう工夫しています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的に保護者からの相談に応じ、面談や助言を通じて子育て支援が行えるよう工夫しています。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		x	現在、父母の会や保護者同士・きょうだい同士の交流の機会は設けておりませんが、今後の実施に向けて検討し、家族支援や交流促進に活かせるよう準備を進めています。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		子どもや保護者からの相談・申入れに対応できる体制を整備し、周知するとともに、迅速かつ適切に対応できるよう工夫しています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的に通信を発行したり、HPやSNSを活用して活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を保護者に分かりやすく発信するよう工夫しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報は鍵付きのキャビネットで保管し、細心の注意を払い取り扱うとともに、保護者への説明にも配慮しています。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達に配慮し、分かりやすい言葉やツールを用いて対応しています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		x	現在、地域住民を招いた行事は行っておりませんが、今後の地域交流や開かれた事業運営に向けて検討しています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		事故防止や緊急時対応、防犯、感染症対応などのマニュアルを策定し、職員や保護者に周知しています。また、発生を想定した訓練を実施し、迅速かつ安全な対応ができるよう工夫しています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定し、非常災害発生に備えて定期的に避難や救出等の訓練を実施し、安全確保と迅速な対応に努めています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		支援前に服薬状況や予防接種、てんかん発作など子どもの健康状態を確認し、安全な支援が行えるよう工夫しています。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーのある子どもには、医師の指示書に基づいて安全に対応できるよう配慮しています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、必要な研修や訓練、その他の措置を講じることで、安全管理が十分に行われた環境の中で支援ができるよう工夫しています。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		子どもの安全確保に関して、家族等との連携を重視し、安全計画に基づく取組内容を保護者へ分かりやすく周知するよう工夫しています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例を職員間で共有し、再発防止に向けた方策を検討して支援の安全性向上に活かすよう工夫しています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止のため、職員研修の機会を確保し、適切な対応ができるよう知識と意識の向上に努めています。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束の必要性が生じる場合については、組織としてルールを定め、事前に子どもや保護者へ十分に説明・了解を得た上で、児童発達支援計画に記載するよう工夫しています。	